



議会だより しらたか

12月定例会
山形県白鷹町議会

Vol. 157

2023年1月16日発行
(令和5年)

おいしいごんぼ めしあがれ



ごぼう栽培から調理まで 東根小学校

誰にも見える施策と成果を 令和4年度政策提言 . . . ② p

知れば得するぎかいのキホン「議員の選挙」 ⑭ p

追跡レポート「若者独身者用の公営住宅整備」 ⑮ p

輝く地域の力 白鷹の未来を彩る「NSEダンス教室」 ⑯ p

お手持ちのパソコンやスマートフォンなどで議会中継をご覧いただけます。録画でもご覧いただけます。



高齢者や視覚の弱い方にも配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。

この広報は、議員の自主編集で発行しています。

施策と成果を

政策提言を行いました。



政策提言の全文は
こちらから

政策提言とは、町政における課題の解決をはかるために、必要と思われる政策を町長に対し提案することを言います。

4 先を見据えた観光のあり方

近年、観光の形態が変わる中、観光交流の課題を点検し、観光客を呼び込むための、先を見据えた基本方針と具体的な施策を検討すること。



おいしい鮎を求めて

5 持続可能な農業のビジョン

農業者の高齢化や減少、農地の荒廃、飼料・肥料の高騰などの現状がある。今後も支援策の継続と持続可能な農業にするための施策を検討すること。



後継者が育つ施策を

6 商工業への施策

小売店は事業継続が厳しくなり後継者が育ちにくい。企業でも人手不足の現状がある。商工業の実態を把握し、支援策を検討すること。



7 災害復旧のあり方

近年、自然災害が頻発。予防・減災の視点で、現況復旧よりも進めた対応や早期の施工が可能となるよう、事務の簡素化などを国・県に働きかけること。



誰にも見える

佐藤誠七町長に対し 7 項目の



令和 4 年 12 月 2 日（役場庁舎内）

本年度は、ポストコロナへの対応や災害復旧のあり方、喫緊の課題の解決・対応等に特化して提言しました。本提言が来年度予算に具体的に反映されるよう望みます。

白鷹町議会

1 ポストコロナの地域づくり

ポストコロナを見据え、地域づくりに対する意識が薄れないよう「地域づくり推進交付金」の継続と事業参加意識の醸成を図ること。



2 「第 2 期健康と福祉の里構想」のサービス提供

「福祉の里構想」策定後、サービス提供を進め、施設の機能を維持していくうえでの維持管理費も含めた長期的な視点を持って事業にあたること。



3 町民サービス向上へデジタル化の推進

町民サービスの向上にはマイナンバーカードの取得、普及が必須。すべての世代が利用し、効果を最大限に発揮できる取り組みを進めること。



12月 定例会 の概要

- ◇期 間 12月8日から16日まで（9日間）
- ◇審 議 専決処分の承認1件、補正予算10件、
条例改正4件、町道認定1件、
契約案件4件。
全議案を原案のとおり全会一致で
可決しました。

◇一般質問

笹原 俊一 議員

1. 空き家バンクの活用
2. 少子化に伴う学校の在り方の検討を
3. 带状疱疹のワクチン接種に助成を

丸川 雅春 議員

1. 子育て支援事業の更なる周知を
2. 蚕桑紬パークにおける施設整備の充実は

管外研修報告

先進事例を
学びました

・ 議員全員研修

徳島県 かみ いた 上板町、かみ やま 神山町

・ 議会運営委員研修

福島県 小野町

コロナ禍により中止が続いた管外研修。
多くの先進事例を学びました。

12ページに
報告記事



東根地区の特産品である、岡の台ごんぼ。子どもたちは、農家の方から指導を受けながら、自分たちで種をまき、育てました。

11月に収穫したごぼうは、子どもたちが切って、炒めて、味付けして、お招きした地域の方々と一緒においしくいただきました。

● **おいしいごんぼ
めしあがれ** ●

ごぼう栽培から調理まで
東根小学校

表紙

一般会計補正予算の主なもの

保育園費（保育所委託料、通園バス安全装置設置補助） 1721万円

保育所の入所実績による委託料調整
通園バス安全装置設置に対する補助

放課後児童クラブ施設整備事業 73万円

蚕桑放課後児童クラブのエアコン更新

再生可能エネルギー推進事業 80万円

太陽光発電設備、木質バイオマス暖房設備等への補助枠追加

木質バイオマス利用施設導入支援事業 2000万円

公共的施設に熱源を供給する木質バイオマス利用設備導入への支援

有害鳥獣対策事業 90万円

鳥獣被害対策協議会のわな保管庫整備への補助

緊急経済対策地域応援券事業 6550万円

コロナ禍における消費喚起、物価高騰による生活への影響緩和のための地域応援券の給付

庁舎内感染症対策・セキュリティ強化事業 2750万円

東根小学校長寿命化事業 350万円

東根小学校プールなどの改修に向けた設計費

など3億8965万円を補正し、一般会計総額は95億7692万円となった。

◎ 財源は、国・県支出金、地方債、諸収入、繰越金などで対応。

【債務負担行為の補正】

荒砥高等学校活性化事業 1200万円

(万円未満は端数調整)



※セキュリティライン許可なく立ち入れない境界線

補正予算の主な質疑

通園バス安全装置設置補助金

横山委員 どのような機材か。運用はいつからか。

健康福祉課長

安全装置の仕様は、今後国からガイドラインが示される。点検完了のスイッチ、シートセンサーなどの情報がある。速やかに対応したい。

木質バイオマス利用施設導入支援事業

11ページに関連記事

丸川委員 導入支援について具体的に説明を。

農林課長

公共的施設で木質バイオマスボイラーを設置する取り組みを支援するもの。今回は白鷹陽光学園の取り組みを支援したい。

庁舎内感染症対策・セキュリティ強化事業

10ページに関連記事

竹田委員 どのような効果や利便性を期待しているか。

総務課長

3年が経ち社会情勢の変化や利便性向上のため見直しが必要。※セキュリティラインの確保や空調対策などを実施したい。

荒砥高等学校活性化事業（債務負担行為）

横山委員 さまざまな取り組みがある。成果は出ているか。

教育次長

活性化の拡充、地域連携協議会の取り組み、高校魅力化コーディネーターの活動が成果を見せ始めている。オープンスクールには昨年比倍増の36名が参加した。



オープンスクールの様子



録画を配信

学校の在り方の検討を

町長 焦らず地域や保護者のご意見を聞く

少子化に伴う将来の学校の在り方を問う

検討をどう進める

問 少子化が進む中で、学校の在り方の検討をどう進めるか。

教育長 地域や保護者のご意見を踏まえ、信頼関係を大切に、合意を図りながら進めたい。

協議の場を早く

問 時間が相当必要であることを考えれば、早急に議論を始めるべきだ。

町長 賛成と反対で地域が分かれるようなことはあってはならない。子どもたちのことを最優先に考え、地域の方



笹原俊一議員

や保護者の方のご意見をじっくりとお聞きし、焦らずに進めたい。

年度	出生数
2017	59人
2018	62
2019	55
2020	60
2021	36

白鷹町出生数の推移

私もひとこと

出生数の減少は明らかです。町、議会、町民も機会を作り学ばなければならぬと思います。（町内70代）

空き家バンクの活用

登録数と成約数

問 空き家バンクの累計登録数と実績は。

町長 令和4年10月現在、累計登録数90件、契約成立数は売買が52件、賃貸が24件、合計76件となっている。

室内片付けに支援を

問 近々の調査で居住可能な住宅は281件。登録数底上げのため、負担の大きい室内の片付けに、支援が必要ではないか。

建設課長 町には空き家の利活用支援交付金やリフォーム時の加算金の制度があり、諸費用の負担軽減になっている。

片付けに対する支援に関しては、他市町村の動向も見ながら慎重に検討していく。

空き家の使い道提示

問 視察に行った徳島県神山町では、空き家を売り出す段階で、店舗など利活用のアイデアを提示していた。当町でも、改装するイメージを空き家バンクに載せることはできないか。物件を選んだだけのような提案ができるのではないか。

建設課長 居住可能な空き家は、立地や物件の間取りによっては店舗やオフィスなどさまざまな活用の可能性がある。アイデアやイメージの提示に関しては、空き家ネットワーク協議会に紹介し、取り組みが可能か、費用は発生するか、仲介手数料で賄えるかなどさまざまな話を伺いたい。

帯状疱疹ワクチン接種に助成を

増加する帯状疱疹

問 コロナ禍で、帯状疱疹を発症する高齢者が増加している。町民の健康を守り、健康寿命延伸の観点からもワクチン接種の助成を。

町長 県外での先行事例や国の議論を注視して判断する。現状では町として支援する環境にはない。

周知が必要

問 疾患の周知をどう行うか。

健康福祉課長 帯状疱疹に限らず感染症予防は免疫力を上げることが重要。今後、も機会を捉え町民の健康づくりを図っていく。



白鷹町空き家情報ホームページ



帯状疱疹に関するホームページ（国立感染症研究所）

子育て支援事業の更なる周知を

町長 町報、ホームページ、SNSへ掲載して発信する



録画を配信

子育て支援

更なる周知は

問 子育て支援事業の更なる周知をどうするか。

町長 町内向けには町報やホームページ、SNSへの掲載のほか、母子手帳アプリや乳幼児健診時など、必要な情報を必要な時期に提供できるように努めている。

町外向けにはそのほか、子育て支援のチラシなどを作成し、移住相談会などで説明しながらPRに努めている。

発信の内容が大事

問 SNSでの発信は内容が大事と思われる。



丸川雅春 議員

る。地域おこし協力隊の方を活用してはどうか。

町長 地域おこし協力隊については今後も広く公募していきたい。その中で応募された方の目的と事業が合致することが大事であると思う。

出合いの場の創出

問 12月3日に開催された町婚活サポート委員会の主催のイベントの状況はどうだったか。

健康福祉課長 町単独では1年ぶりの開催となり、町内外より18名の方が参加され、3組のマッチングが成立した。

入居募集の工夫

問 移住世帯向け子育て支援住宅の入居希望者を増やすため、募集の工夫をどうするか。

建設課長 年度当初までは町報とホームページだけで行っていたが、今後はSNSの積極的な活用や、県内の保育園などに配布される子育て世帯向けフリーペーパーへの掲載も行い、PRしていきたい。

私もひとこと

0から2歳児までの保育料無料化はたいへんありがたいです。大いにPRすべきです。(町内30代)

通園バスの安全対策

問 静岡県で発生した通園バス園児置き去り事案を受け、どのような対策が取られたか。

健康福祉課長 国から要請があった

緊急点検について、こども園には県で、保育園には町で、直接訪問して点検結果を確認させていた。また、来年度の安全装置設置の義務化に向けて、本定例会で補正予算に補助金の計上を行う。

男性育児休制度の啓発

問 出生数の増加につながると思われる、新たに創設された「産後パ育休制度」の啓発をどのようにするか。

商工観光課長 この制度は柔軟で休業を取得しやすくなっている。町における就労環境改善対策事業において、セミナーの開催などで町内企業に周知を行っていきたい。

蚕桑紬パーク

設備の点検

問 利用者に快適な環境で使用していただくため、設備の点検はどのように行われているか。



多くの利用がある蚕桑紬パーク

町長 管理は東高玉区に委託しており、消防設備や電気設備の点検は専門業者に依頼している。このほか、担当職員が検査の立ち合いなどで出向いた際にも点検を行っている。

施設の長寿命化対策

問 長寿命化対策は

町長 昨年度作成した白鷹町社会教育等施設個別施設計画では、貸し出しを行うには支障はなく、当面は部分的な補修を行いながら運営していくこととしている。

総務厚生常任委員会 12月13日

計画の具現化に向けて

白鷹町振興実施計画の策定について説明を受けた。

町当局の説明

【概要】

振興実施計画は、総合計画を受け実施する具体的な事業の内容を示す計画で、毎年のサイクルで改訂を繰り返す。（期間は3年間）

【視点】

今回は以下の3点を加味することをポイントとしている。

- ①各分野における担い手不足、組織力低下への対応（地域人材ベースキャンプの設立）
- ②デジタル変革の加速
- ③グリーン取組（緑の循環システム、脱炭素社会の推進、森林の航空レーザ測量の実施など）

質疑

集落支援員制度とは

【委員】集落支援員制度は、どのような内容か。

【当局】国の制度を使い、コミュニケーションに配置し、地域課題の解決に向けさまざまな活動をしていけないか検討している。

デジタル化のPRは

【委員】マイナンバーカードと連動したワクチン接種証明アプリもあるが、PRはどう考えているか。

【当局】健康福祉課と連動してPRについて検討していきたい。

最適な学校環境を考える

白鷹中学校再整備計画の検討について説明を受けた。

【背景】

白鷹中学校では、生徒がさらに頑張ることのできる環境を整えるため、400メートルトラックの整備、空調設備のある体育館など機能強化について検討を行ってきた。しかし、敷地に拡張性がなく、一部が土砂災害特別警戒区域内にあるなど困難な状況にある。

【今後の対応】

施設の再配置を含め、関連する施設について新たなグラウンドデザイン（全体構想）を描き、調和の取れた最適な環境を考えていく必要がある。

当面の対応としては、体育館床の損耗対策とグラウンドの排水対策を早期に行う。

質疑

スケジュールは

【委員】体育館床の改修とグラウンドの排水対策のスケジュールはどうなるか。

【当局】令和5年度に調査を行い、6年度に体育館床改修、7年度に排水対策を計画しているが、調査結果を基に計画したい。

応急対策を取れないか

【委員】グラウンドからの排水により、大雨のたびに被害が予想される。応急対策を取れないか。

【町長】現在の用水路では排水しきれない。時間的な部分で平均的に流す必要性から調整池も検討している。



排水対策が大きな課題

- その他の説明
- 令和4年度給与改定等
- 第3次白鷹町環境基本計画（中間報告）
- 第2次白鷹町エネルギー計画（中間報告）など

主体的な取り組みとなるか

6次産業化推進拠点施設の整備について説明を受けた。

質疑

課題解決に向けて

【基本設計業務】
委託先：株式会社 秦・伊藤設計
契約額：495万円
工期：令和5年3月24日

【意見交換会】

8月より若手農業者有志数名と7回実施。「6次産業化に取り組みたい」「施設を活用したい」という意向もあるが、「農業が忙しく手が回らない」「個人では難しい」という課題も挙げられた。
【今後の進め方】
○年度内に基本設計を取りまとめる。
○利用者を募集。
○「農工商連携」につながる6次産業化推進拠点施設としてのあり方を検討する。

委員 課題解決に向けて誰が検討を行うのか。若手農業者から意見があったか。

当局 いかにも所得を残せるか、自分たちで主体性を持ってやっていけるか、検討の途中である。

支援のあり方

委員 行政としてどういった支援をしていくのか。
当局 対象者に寄り添いながら情報の収集や提供など、伴走型支援をしていきたい。



商品のアイデア

委員 若手農業者との話し合いの中で、具体的な商品のアイデアは出てきたか。

当局 リンゴやトマトなど果実を絞ったジュースや、地域の野菜を活用したカレーなどの意見があった。

今後のスケジュール

委員 利用開始の目標時期はいつか。
当局 令和5年度工事完了、6年度利用開始を目標にしたい。

コーディネーター

委員 組織化について、コーディネーターの力を借りることはどうか。
当局 適任の方が探せず、まだいない状態。引き続き探しながら、その間はバックアップしていきたい。

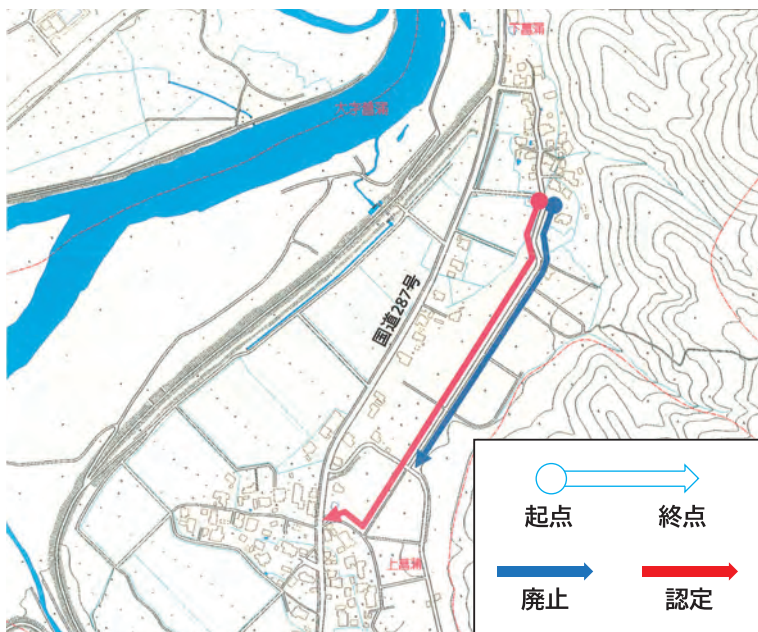
その他の説明

○浅立地区農業集落排水処理施設の公共下水道接続後の施設利用について

利便性の向上へ

町道路線の認定及び廃止について説明を受けた。

菅蒲地内の国道287号の道路改築事業を受けて、新たに設置される菅蒲分館までの接続道路を町道とするもの。これにより集落内の生活安全の確保及び
【路線名】 菅蒲緑の里線
利便性が向上する。国道287号改築事業の早期完了を期待したい。



総務厚生常任委員協議会

11月24日

白鷹町から世界へ羽ばたけ

白鷹町スポーツ栄誉賞の制定などについて説明を受けた。



栄誉賞を受賞した紺野稜真君（萩野）

白鷹町スポーツ 栄誉賞の制定

【目的】

スポーツの分野において優秀な成績を収め、町民に夢や希望を与え、ると共に本町の名声を高める顕著な功績のあった者を表彰し、その栄誉を称える。

【被表彰者】

特別栄誉賞

オリンピック・パラリンピック、世界選手権大会など国際的な競技大会に、日本を代表して出場した者。

栄誉賞

国民体育大会、全日本選手権大会などの各都道府県の代表選手が参加する全国規模の大会において、優勝した者。

【表彰】

表彰は、表彰状に副賞（金品または記念品）を添えて行う。

副賞

特別栄誉賞 100万円
栄誉賞 50万円

庁舎セキュリティ ラインの改修

セキュリティラインの施設を電子キーとし、セキュリティラインの強化を図るとともに、時間外の庁舎と中央公民館の往來の利便性の向上を図る。

窓口待合コーナー 周辺の寒さ対策

冬期の窓口周辺への冷気流入による寒さ対策として、待合コーナ

ーの天井に赤外線ヒーターと天井扇を設置する。

価格高騰緊急支援 給付金

【目的】

電気・ガス・食品などの価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯に、給付金を支給することにより、住民税均等割非課税世帯等に対する適切な配慮を行う。

【給付金額】

一世帯あたり 5万円

その他の説明
○定年引上げに係る等級別基準職務表改正案について

ゼロカーボン社会への一歩として

令和4年度木質バイオマス利用施設導入支援事業について説明を受けた。

【事業概要】

「緑の循環システム」

構築に向け、無駄のない森林資源の活用、ゼロカーボン社会の実現のため、化石燃料から木質バイオマスへのエネルギー転換を推し進めることや原油高騰への対応、導入者及び利用者負担の軽減を目的に支援を行う。

【補助対象】

福祉施設や医療施設、不特定多数の方が利用する公益的な施設において木質バイオマス熱源施設を導入する者。

【補助金額】

- ①経費50000、75000万円
- ↓補助8000万円
- ②経費75000万円、1億円

第2弾の経済対策等で経済の活性化を

緊急経済対策関連事業について説明を受けた。

【事業概要】

今年度すでに行った事業の第2弾などを行う。

- ①白鷹町緊急経済対策地域応援券給付事業（令和4年度第2弾）（通算第4弾）

物価などの上昇による生活の影響緩和を目的に、白鷹町内の事業参加店舗で使用できる地域応援券（商品券）を一人当たり5千円分給付するもの。

- ②白鷹町飲食店等緊急経済対策事業（第2弾）

飲食店などを割引価格で利用するため（店内利用・テイクアウト・出前・仕出し）の助成費用に係る支援。



質疑

想定される施設

委員 想定される補助対象施設として、飲食店も対象か。

当局 あゆむや産業センターなどの公共施設や公益的機能を持つ温泉施設や集合住宅などが考えられる。商業施設への該当は難しい。

該当する施設

委員 補助を受ける目的のある施設はあるのか。

町長 一施設あり、精査しながら間違いのない取り組みをしたい。

その他の説明
○令和4年8月3、4日発生豪雨災害復旧事業について

●割引額

会計額（税込）700円以上で3割引（100円未満切り捨て）
※割引上限 2万円

質疑

委員 白鷹町飲食店等緊急経済対策事業の各店舗における配分予算はどうなるか。

当局 各店舗へ希望調査を実施している。前回の状況も考慮しながら決定していきたい。



その他の説明
○感染症対策本部及び緊急経済対策本部の状況
○新型コロナウイルスワクチン接種状況
○物価高騰対策教育費臨時特別給付金



古民家を活用したサテライトオフィス【神山町】



藍染作品の進化におどろく【上板町】

議員管外研修

10月17日～19日

議会運営委員会研修

10月3日

議員管外研修を、徳島県上板町、神山町で行った。

している。

特産品を生かしたまちづくりの研修を目的に、藍染、藍と紅花の共同の取り組みについて学んだ。

【上板町】

本町は平成30年度に表敬訪問。共同の取り組みへ情報交換。コラボレーション作品を制作した。その後は本町観光協会において藍染商品の展示や物販が継続している。引き続き両町の交流に期待したい。

藍染

訪れた「技の館」では、上板町の特徴である「技」をテーマに、藍染や阿波和三盆糖などの歴史や文化を、座学と体験で深く知ることができた。

【神山町】

移住・定住等の施策についての研修を目的に、サテライトオフィスなどを視察した。

地方創生の聖地

以前から地方創生の一環で高速インターネットの整備など積極的な導入が聖地と言われる理由ではないか。本町でも更なるデジタル化の促進が課題であると感じた。



デジタル起業に対応した共同事務所【神山町】

民間が主導

意欲ある民間や人材が地方創生を主導しており、自治体は民間に寄り添い支援していくことが成功のポイントと感じた。

今後は官民が互いに協力し、知恵を出し合い進めていくことが重要になると思われる。

研修を通してたくさんヒントがあり、大いに参考になった。

議会改革及び運営についての研修を福島県小野町で行った。

小野町議会の取り組み
○住民との意見交換会
《効果》
町民の要望を把握でき、予算審査などに有効に活用できた。

○通年議会
《効果》
①議長権限で本会議を開催でき、行政のチェック機能の充実、議会の主体性・機動性を高められる。
②原則として専決処分がなくなる。
③委員会の所管事務調査など時機を逸することなく行える。
④町民からの請願・陳情に速やかに対応できる。
⑤議員個々の意識改革と資質向上など。



○タブレット端末導入
《効果》
当初は反対した議員も実際に使ってみると「これほど便利なものはない」と感想を述べていた。

【まとめ】

通年議会は、災害などの突発的な事件や緊急の行政課題などへ迅速に対応できる。また、情報共有やペーパーレス化などによるICT化を進めるためタブレット導入の必要性を感じる。

指定管理者公募に1者より申請あり

白鷹町ふるさと森林公園の指定管理に係る公募の状況などについて説明を受けた



11月24日開催の委員会

【公募の状況】

9月29日から指定管理者の公募を行っており、11月1日が参加申込書の提出期限であった。

○参加申込の状況
2者から提出あり。

○白鷹町アルカディア財団の指定管理者への申請

理事会において、指定管理者の申請については、申請しないことに決定となった。

○予算
①外部審査会委員謝礼 8万円

②コンサルティング業務委託料 44万円
○今後のスケジュール

■申請受付期間
令和4年12月12日

【老朽度調査】

令和5年1月
現状調査と保全計画の策定を進めているが、鉄骨部分の腐食が見られ、詳細な調査を行い

状況の確認を行う必要が生じた。

○対応

急を要するため、予算は予備費にて対応。
■予備費充当額 160万円
■工期 1か月半程度

質疑

2者の実績

【委員】 提出のあった2者の実績等はどうか。

【当局】 1者は土地建物の総合開発を主力としており、リゾート業も手掛けている。もう1

者は主に指定管理受託業務を営んでおり、過去には宿泊関係施設を受託した実績もある。

【委員】 過去に施設再生をしたような実績まで調べる考えはあるか。

【町長】 いろいろなりサーチをして外部審査会の中で審査をお願いする。信頼はあると認識している。

選定委員会

【委員】 選定委員会の中で、どちらかを選択するということか。

【町長】 間違った選定はできないので、できるだけ細かい情報も集めて選定していきたい。

外部審査会メンバー

【委員】 外部審査会委員はどういった方々を想定しているのか。

【当局】 学識経験者、税理士、観光関係、商工業関係、町民代表、銀行関係の6名であり、各分野から見ている。

き、審査をしていただき、審査をしていただき。

12月16日開催の委員会

【申請の状況】

○申請書類の提出状況（12月12日提出期限）

1者から申請書類の提出があった。この1者について、審査を行い、指定管理者の指定に向けた対応を行うこととなる。

●申請書類提出業者
所在地 大阪府
業種 建設業・宿泊業

○今後のスケジュール（予定）

■外部審査会事前説明会 令和4年12月27日

■外部審査会

令和5年1月

■選定委員会

令和5年1月

■候補者の決定

令和5年1月

■特別委員会説明

令和5年2月

■指定管理者指定の議決

令和5年3月議会

※質疑はなかった。





知れば得する “ぎかい” のキホン

第12回

議員の選挙

選挙の仕組みそのものを定めた法律である公職選挙法が令和2年に一部改正されました。選挙への出馬を検討するとき、避けて通れないのは公職選挙法。

今回は、令和5年4月に行われる、町議会議員選挙に関する改正点などをまとめました。

改正の概要

公職選挙法では、お金のかからない公正な選挙を実現するとともに、資産の多少にかかわらず立候補や選挙運動の機会を持てるようにするため、候補者の選挙運動などの費用の一部を国または地方公共団体が負担する制度（選挙公営制度）が設けられています。

また、これまで禁止されていたビラ頒布が解禁されると共に、供託金制度が導入されることになりました。

町村議会議員の選挙においても、選挙運動などにかかる費用の一



条例における選挙運動に要する費用の公費負担額

区分	項目	公費負担額
選挙運動用自動車	○ 公費負担の適用を受けるのは、一日につき、下記の①か②のいずれか一つ。 ※下記①と②の契約が、同一の日に締結されているときは、当該候補者が指定するいずれかの契約のみが公費負担の適用を受ける。	
	○ 公費負担の上限は、64,500円に届出日から選挙期日の前日までの日数を乗じて得た金額となる。	
	① 一般乗用旅客自動車運送業者との運送契約（タクシー等）	一日につき64,500円以内 （2台以上の場合でも1台分）
	② 借入契約（レンタカー業者等）	一日につき15,800円以内 （2台以上の場合でも1台分）
	燃料の供給に関する契約	届出日から選挙期日の前日までの日数×7,560円の範囲内 （①の契約が締結されている場合は、その日数を除く）
	運転手の雇用に関する契約	1日につき12,500円以内 （2人以上の場合でも1人分）
選挙運動用ビラ		選挙運動用ビラの作成 一枚当たり7円51銭以内：1,600枚まで
選挙運動用ポスター		一枚につき、以下によって得た金額の範囲内 （535円6銭×ポスター掲示場数+315,000円）÷ ポスター掲示場数 枚数：ポスター掲示場数まで

追跡 レポート

— あの質問のゆくえ —

若者独身者用の公営住宅整備

若者の独身者専用の、ワンルームクラスの公共住宅があれば若者の回帰にも好影響があると思われるが、考えは。
(令和元年9月議会)

答弁

「すまいる新生活！賃貸住宅供給サポート事業」に独身者用も含めて、民間住宅の整備を行う事業者の方に補助を行っている。公営についての制度は準備していない。

どうなった

新たに若者定住促進住宅整備基本構想を策定

町では、人口減少緊急対策プロジェクトでの議論や住宅ニーズに関するアンケートの実施経過を踏まえ、令和4年5月、子育て支援住宅・若者定住促進住宅整備基本構想を策定しました。

構想では、令和7年度末までに、子育て支援住宅12棟及び若者定住促進住宅3棟（1棟6戸・計18戸）の整備を計画しています。新たな取り組みとなる若者定住促進住宅の入居対象は、単身世帯及び子どものいない夫婦世帯を想定しています。

子育て世帯と若者単身者などに向けた良好な住宅環境整備を進め、町への移住定住者の増加と転出抑制に取り組めます。

【建設課】

計画どおりに整備を進め、若者の定着率の上昇はもちろん、出生数の増加も含め、人口減少歯止めの一翼を担う施設になることを望む。

議会だより前号のお詫びと訂正

議会だよりしらか 156号の記事に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

8ページ

誤：アルカディア財団への1億円出損金

正：アルカディア財団への1億円出捐金

【自治体からの出捐金とは・・・自治体の予算からお金を支出しそれにより相手方の財産を増加させることをいいます。】

16ページ

誤：当局 歩道除雪の見直し、歩道除雪機械の更新、単価の見直しを行った。

正：当局 歩道除雪の見直し、歩道除雪機械の更新、単価の見直しなどの要望があり、さらに検討してまいります。

蚕桑コミセンで動画作成のボランティアもしています。仲間を募集中です。



横田 優子 さん (高玉地区)

輝く地域の力 白鷹の未来を彩る NSEダンス教室

… 一步を踏み出し、失敗を歓迎しよう …

育児しながらダンスや英語を伝える横田さんに、お話を伺いました。

ダンスはいつから
高玉芝居に9歳で参加したのが始まりです。

歌をやりたくて、高校卒業後はハリウッドの音楽学校に留学。日本に戻ってから音楽活動をしていて、ダンスはずっと続けています。

私の芸歴は高玉芝居が始まりなんです。

活動のきっかけは
子育てするなら地方が

良いと夫婦で話をしていて、縁あって私の故郷に戻りました。

仕事で杉並区の地域活動に携わった経験もあり、地域活動への気持ちは持っていたので、子育てを軸にできることを考え、英語とダンスの教室を始めました。

レッスンでは
プロかどうかは、お客さんは区別できません。失礼がないように、ステージに上がったならばプロとして振る舞おうと話しています。

積極的ではない子ども次第にポジションへの責任を持ち、ちゅうちよなく表現できるようになり、本番の後は表情が変わります。ステージという場で、成長していく。そんな姿を見ると、とてもすてきなと思います。

伝えたいこと
自分の安心ゾーンから

一歩踏み出し、失敗を歓迎しながら誇りを持ち生きていくのを子どもたちに見てもらいたいと思います。そして、そんな熱を地域の中で高めていきたいです。

失敗から学び成長することを前提に、大人も子どもも、一歩踏み出してみませんか。

地域活動
地域活動って、お得がいっぱいなんです。

積極的に活動されているご年配の方々は暮らしの知恵をたくさんお持ちで、困ってれば手を差し伸べてくださいます。そんな方々と交流できることは、お金に換算できない価値があると感じています。

実際には、お野菜をたくさんいただくなど、家計にうれしいことも多々あるのですが(笑)

議会へひとつ
「事件は会議室で起きているんじゃない！」

は、地域づくりにも当てはまると思います。

学校ボランティアや地域イベントなどには一緒に作り上げる立場で参加し、一緒に汗を流し、そこで見えてくる本質を議会に生かしてください。そんな議員さんが増えたらすてきなと思います。

取材を終えて
記事に載せきれないほど、たくさんのお言葉を頂戴しました。情熱を持ち地域と関わる横田さんは、皆様に愛されるよう活動されているようです。地域に新しい風が吹いていることを強く感じました。



編集後記

明けましておめでとうございます。

昨年の世相を表す漢字は「戦」が選ばれました。要因の一つとしてロシアによるウクライナへの軍事侵攻がありますが、これがエネルギーや小麦など原料の高騰につながり、さまざまな物の値段が上昇し、暮らしづらさを感じさせています。

議会12月定例会においても、こうしたことへ対応する補正予算が計上されました。

今年はこの紛争や、新型コロナウイルスとの戦いにも終止符が打たれ、年末には明るい世相を表す漢字が選ばれることを願うばかりです。

(丸川)

広報委員

委員長 菅原 俊一
副委員長・編集長 金田 悟
委員 丸川 雅春
委員 竹田 雅彦
委員 横山 和浩
印刷・(有)梅津印刷



お手持ちのパソコンやスマホ等で議会中継をご覧ください。録画でもご覧いただけます。

議会だよりへのご意見・ご感想などを議会事務局までお寄せください。